

# 町立下川中学校（内装木質化）

■所在地 北海道上川郡下川町南町 417 番地  
■設置者 下川町  
■構造 鉄筋コンクリート造・木質内装  
■改修延床面積 2,642m<sup>2</sup>

■木材使用量 54.0m<sup>3</sup>  
うち地域材 53.9m<sup>3</sup>  
■使用樹種 腰壁：カラマツ、トドマツ  
床：シラカバ、タモ、ナラ等



## ◆施設の概要

森林資源が豊富で林業・林産業が盛んな下川町の地域特性を活かし、学校施設において環境に配慮したエコスクールとして、地域材を利用した内装木質化を実施しました。

本施設は、昭和 52 年に建築された鉄筋コンクリート造の中学校であり、今回の内装木質化により 1 階から 3 階について、地域材を活用しながらタイル床をフローリングに改修し、さらに腰壁等を新たに設置しました。

## ◆工法等の特徴

校舎内の教室、玄関、廊下、階段、職員室などの床、腰壁、柱部分等を地域材に張り替え、また、教室の引き戸、ロッカーなども地域材製に取り替えました。

## ◆整備に当たり工夫したこと

以下のとおり樹種の特性ごとに床材を使い分け、快適な空間をデザインしました。

シラカバ・カバ材：色が明るいので暗くなりがちな廊下に使用。

タモ材：比較的落ち着いた雰囲気を持つため、特別教室に使用し、普通教室との違いを演出。

ナラ材：重厚で強く耐久性に優れているため、利用頻度の高い普通教室や金工室に利用。

カラマツ材：赤みのある華やかな色味を持つため、特別な雰囲気を出したい音楽室や英語教室、また、来客数の多い会議室や展示資料室に使用。

## ◆利用者の声

「校舎が明るくなり、木の温もりを感じることができるとともに、内装木質化工事とともに木質バイオマスによる熱供給システムも整備され、快適な校舎になった。」などといった声が寄せられています。